



遠藤光太郎さん

思います。災害に強いとか交通の便がいいといった地の利を活かした支援が必要かと思いましたが。新しい人の流れづくりとしては、既存の観光施設をもっと有効活用することができないかなと思っています。

たとえば平田村のジュピアランドは芝桜が終わったあとも、アジサイや百合、紅葉など年間を通して観光客が訪れる工夫をしています。

千本桜は桜が咲いてる時期しか観光客が訪れないので、たとえばイルミネーションとか、春だけではない観光資源になる仕組みを



町長

作ればいいんじゃないかなと思います。リカちゃんキャッスルもほかにはない建物なので、イルミネーションももっと大々的にPRしてみるといいのかなと思います。女性受けもするし、SNS映えもすると思います。

います。

そういった催しをするこ

とで観光スポットとしての地位を確立すれば新しい人の流れも生まれるのかなと思います。

トークテーマ3

安全で安心して生活できるまちづくり

今

人口減少社会という、今までの人が経験したことのない不安定な時代を生きていく中で、安心感を得ることは難しいか

町と行政のラリーを

古崎泰介さん

人と人が

つながれる環境を

草野遵さん

人と人がしっかりとつながりを持てるような

環境づくりが未来に向かって安全で安心して生活できるまちづくりだと思おうので、人と人がつながっているような環境を行政に整備できるように努力してほ

と思います。その中で町民と行政がラリーを続けて真に必要なものは何かを掴み取ることが重要なのかと思います。

近所付き合いとか人付き合いとか、思いやりをもつた人が多いのが小野町の財産だと思っています。

そうした地域の人たちと協力して、行政にすべて頼るのではなく、得意分野の人の力を借りていくことが重要かと思っています。

女性の職場復帰を

西牧美江子さん

しいですし、地域としてもそういった環境を整備していければいいなと思います。

高

齢者も増えてきているので地域とのコミュニケーションが重要だと思っています。

私が住んでいる赤沼では、隣近所つながりが強くてできた野菜を物々交換したりとかそういうコミュニケーションがしっかりとれているのでそれが犯罪の抑止力になっていると感じます。

待機児童の問題については子どもを預けられず、職場復帰がかなわない女性がいると思います。

働けない女性が多いというところが解消されて女性の